平成23年度当初予算　予算要求シート

整理番号　11 － 112　　局･課名／　健康福祉局　健康増進課　　（単位　千円）

事業名	認知症対策等支援事業
関連事業	高齢福祉課　認知症対策連携強化事業 精神保健福祉課　認知症疾患医療センター運営事業(政令市)

	平成21年度決算額	平成22年度予算額	平成23年度要求額
事業費	407	1,405	2,106
事業期間	H18～　H	全体事業費	

事業目的

本市の認知症医療の推進には、市民に身近なかかりつけ医が重要な存在であり、認知症診療スキル向上等に取り組んでいるところであるが、今後増加が予測される認知症患者を地域で支える為に、かかりつけ医に対する専門医の協力体制などの認知症医療の診療体制を構築していく。

今年度要求のポイント

認知症医療の診療体制構築においては、認知症サポート医機能の充実が最も重要であるので、サポート医の役割の再確認後に、具体的な活動につなげていくための経費を要求する。

事業内容

○認知症サポート医の養成
　派遣研修により認知症サポート医を養成する。
○かかりつけ医研修
　認知症サポート医が中心になり、かかりつけ医認知症対応力向上研修等において、かかりつけ医が認知症について学ぶ機会を提供する。
○認知症サポート医意見交換会
　認知症医療の在り方などについて意見交換を行う。
○認知症サポート医フォローアップ研修
　認知症サポート医の連携推進におけるスキル向上を目指す機会を提供する。
○認知症医療連携推進の普及啓発
　広く市民に認知症医療に関する普及啓発を行う。

主な要求内容

（単位：千円）

項目	22年度予算	23年度要求額	内容・積算等
認知症サポート医の養成	326	288	報酬、賃借料等
かかりつけ医研修	479	716	報酬、賃借料等
認知症サポート医意見交換会		426	報償費、賃借料等
認知症サポート医フォローアップ研修		76	旅費
認知症医療連携推進の普及啓発	600	600	印刷製本費
合計	1,405	2,106	

スケジュール（経過及び今後展開）

【経過(～22年度】
認知症かかりつけ医対応力向上研修会の開催
認知症サポート医フォローアップ研修伝達研修の実施と認知症サポート医の役割の再確認

【23年度】
既存の事業実施及び区ごとのかかりつけ医との連携強化に向けた意見交換と認知症サポート医支援体制の構築

【今後(～24年度】
認知症サポート医の意見を踏まえた具体的活動の確立
認知症疾患医療センターや専門医療機関などの関係機関との連携体制の構築

その他　特記事項